



しめ

の

しめかき

ね

くん

しめ
の
むしめかね
くん

しめまち す
志免町に 住む こうきくと まなちゃんは

しょうがくいちねんせい
小学1年生に なったばかり。

がっこう かえ みち お
学校の帰り道 むしめがねが 落ちているのを 見つけました。

「あ! あんなところに むしめがねが 落ちてるよ。」

「ひろって みよう!」

ふたり
2人は むしめがねを ひろいました。





「やあ！ ぼくは むしめがね。

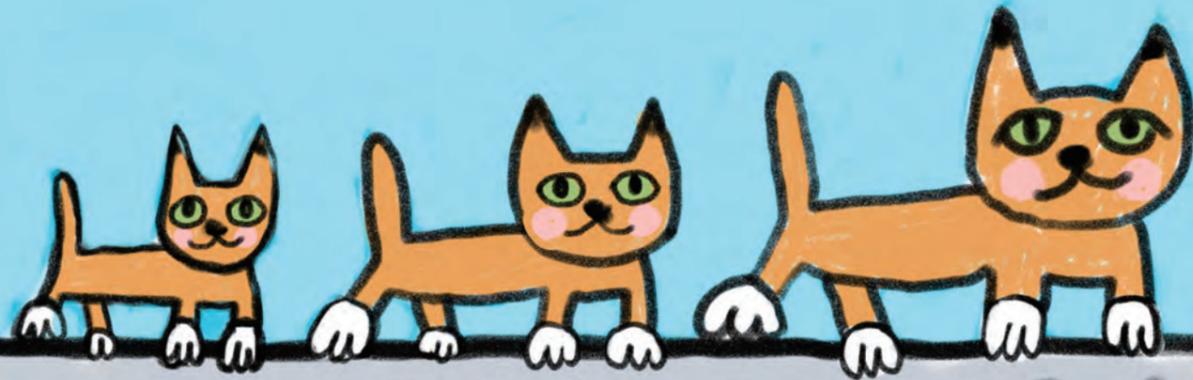
いま きみたちが 住む 志免町を 探検しよう！」

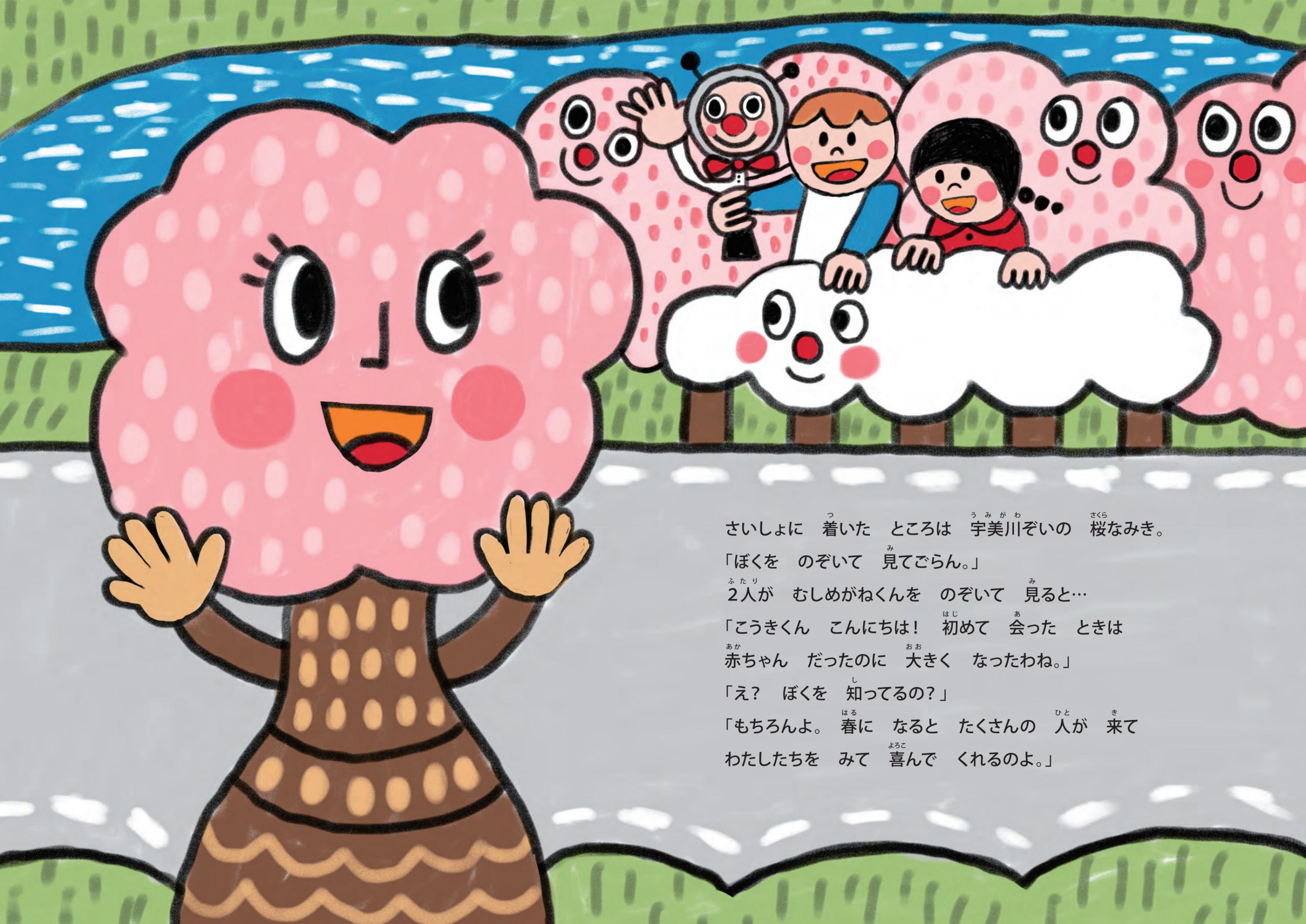
そう言う 2人の からだが ふわっと 浮いて

空を 飛びはじめました。

「うわあ！ ぼくたち 空を 飛んでるよ。」

「見て！ お家や 人が たくさん見えるよ。」





さいしょに ^つ着いた ^{うみがわ}ところは 宇美川ぞいの ^{さくら}桜なみき。

「ぼくを ^みのぞいて 見てごらん。」

^{ふたり}2人が ^みむしめがねくんを ^みのぞいて 見ると…

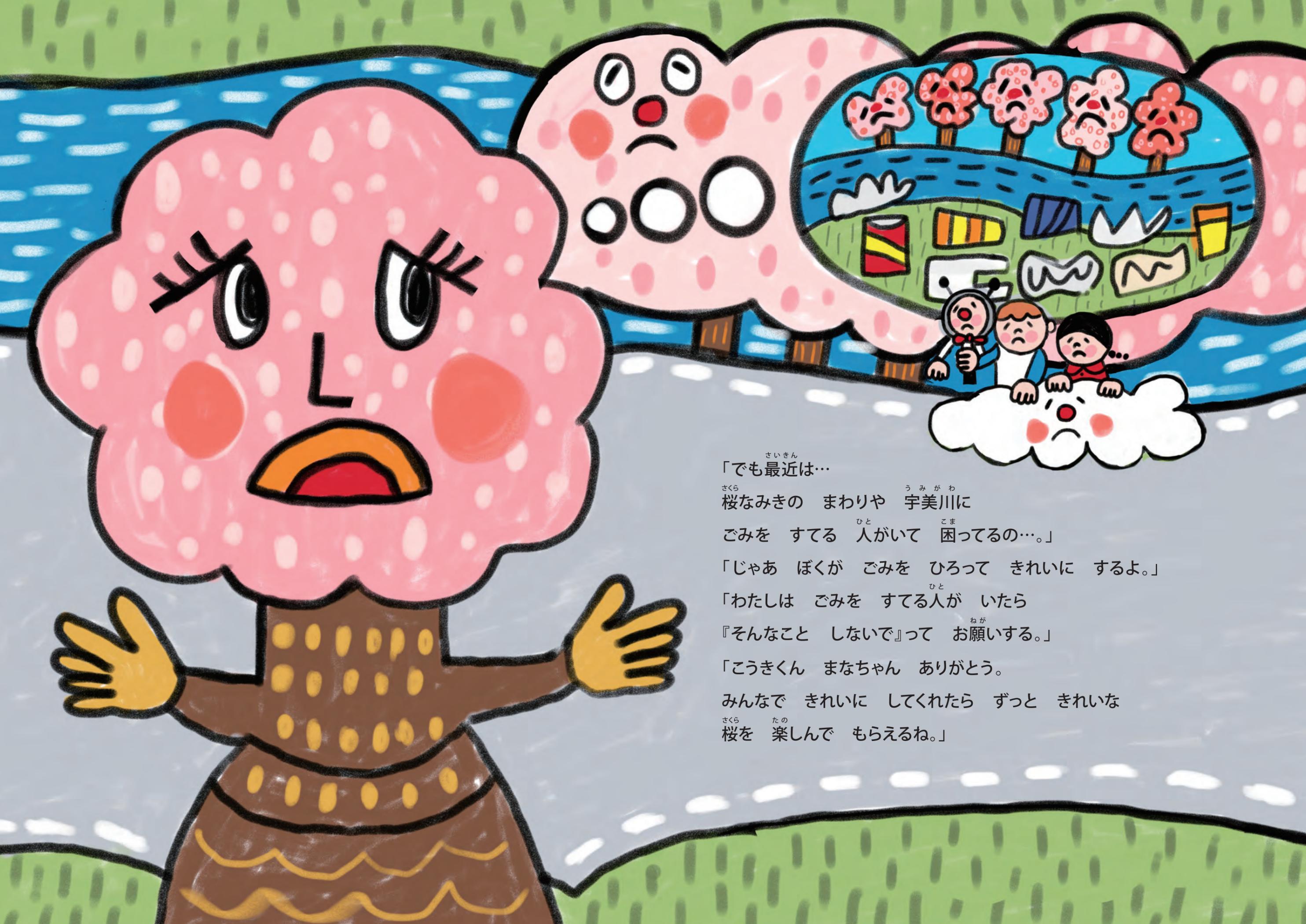
「こうきくん こんにちは! ^{はじ}初めて ^あ会った ^あときは

^{あか}赤ちゃん ^{おお}だったのに ^{おお}大きく ^あなったわね。」

「え? ^しぼくを ^し知ってるの?」

「もちろんよ。 ^{はる}春に ^{はる}なると ^{ひと}たくさんの ^{ひと}人が ^き来て

わたしたちを ^{よろこ}みて ^{よろこ}喜んで ^{よろこ}くれるのよ。」



さいきん
「でも最近は…」

さくら まわりや うみがわ
桜なみきの まわりや 宇美川に

ごみを すてる 人がいて 困ってるの…。」

「じゃあ ぼくが ごみを ひろって きれいに するよ。」

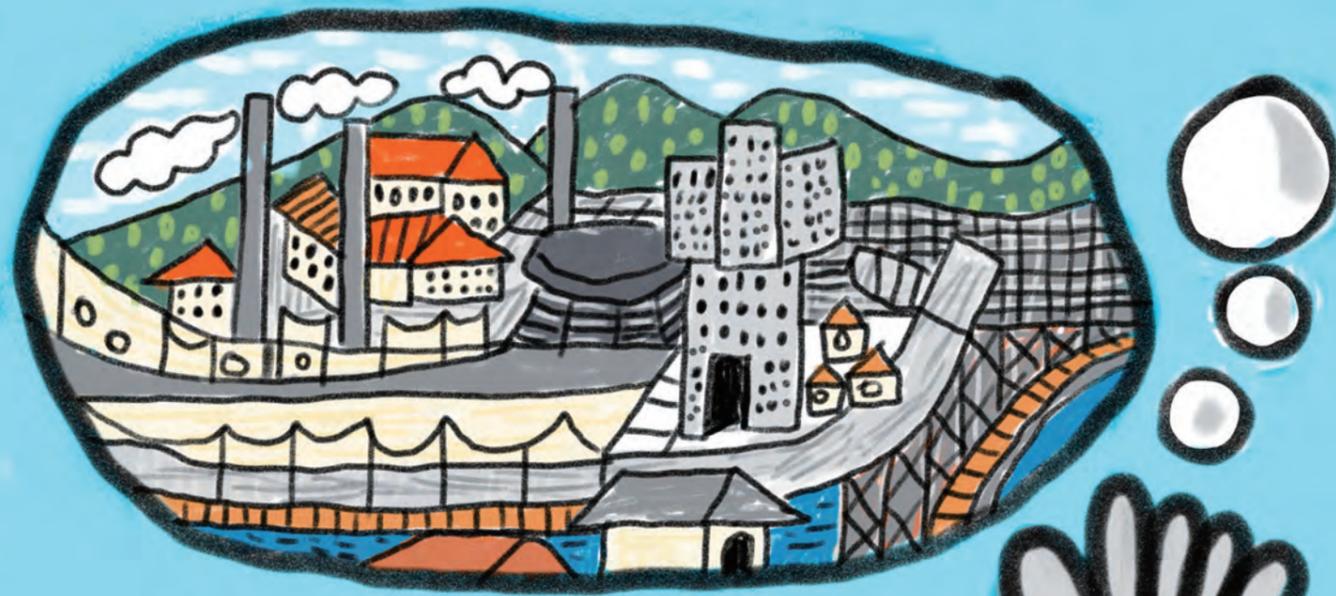
「わたしは ごみを すてる人が いたら

『そんなこと しないで』って お願いする。」

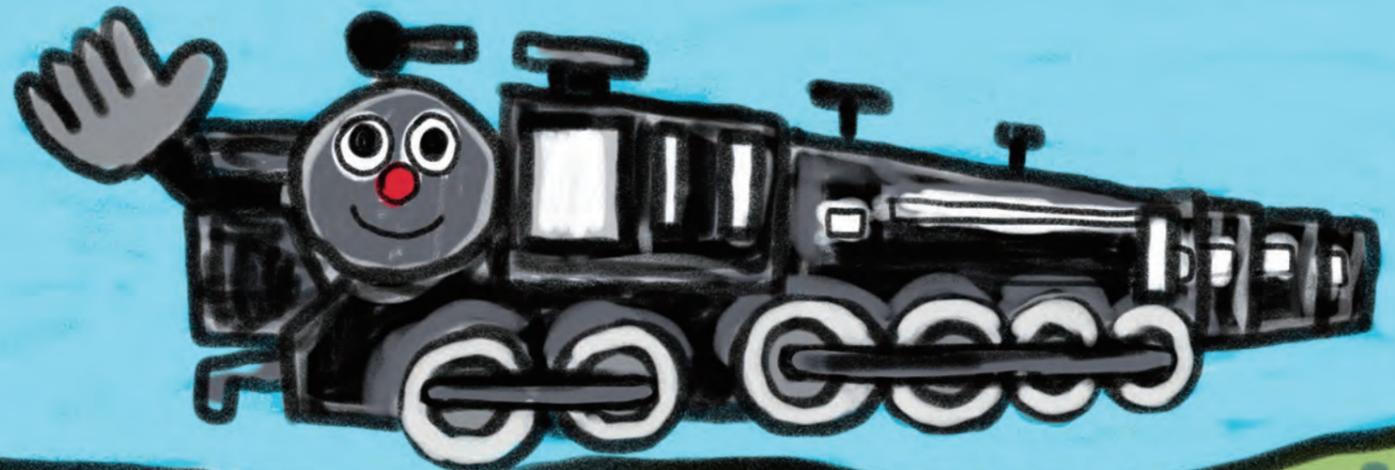
「こうきくん まなちゃん ありがとう。」

みんなで きれいに してくれたら ずっと きれいな

桜を 楽しんで もらえるね。」



つぎ 次^つに 着いた ところは たてこうやぐら。
「近く^{ちか}で みると ほんとに 大きい^{おお}ね! でも これなんだろう?」
ふたり 2人^{ふたり}が むしめがねくんを のぞいて 見ると…
「こんにちは。わたしを 近く^{ちか}で みるのは 初^{はじ}めてかい?
わたしは 志免町^{しめまち}が 炭鉱^{たんこう}の町 として さかえていた
約80年前^{やくねんまえ}に 建て^たられたんだよ。地下^{ちか} 深く^{ふか}から 石炭^{せきたん}を 上げ^あたり
働^{はたら}いている 人^{ひと}を 地下^{ちか}まで 移動^{いどう} させたり していたんだ。」
「ずっと 前^{まえ}から 志免町^{しめまち}を みてきたんだね。」





つぎ 着いた ところは イルミネーション された メタセコイアの木。

「わあ! 大きな 木が キラキラ 光って キレイ!」

ふたり 2人が むしめがねくんを のぞいて 見ると…

「こんばんは。わたしは メタセコイア。

せきたん 石炭の もとになった 木なのよ。

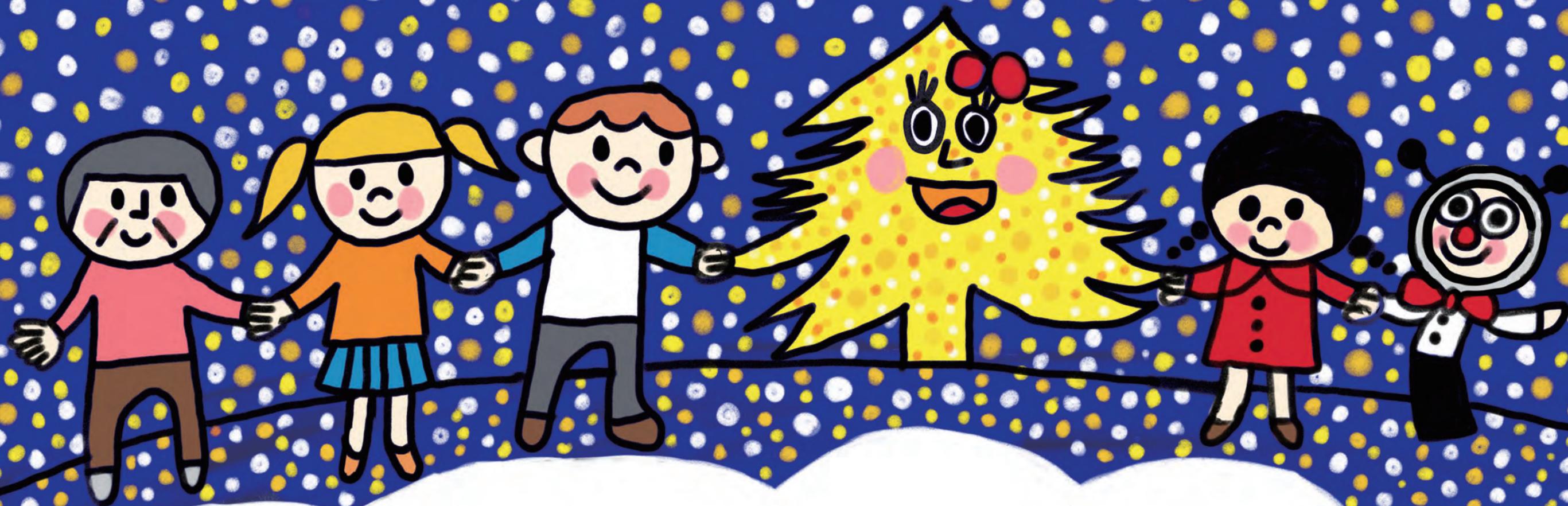
いま 今では 志免町の シンボルツリーに なっているの。」

「どうして キラキラ しているの?」

「これは みんなが 力を 合わせて 志免町が ずっと

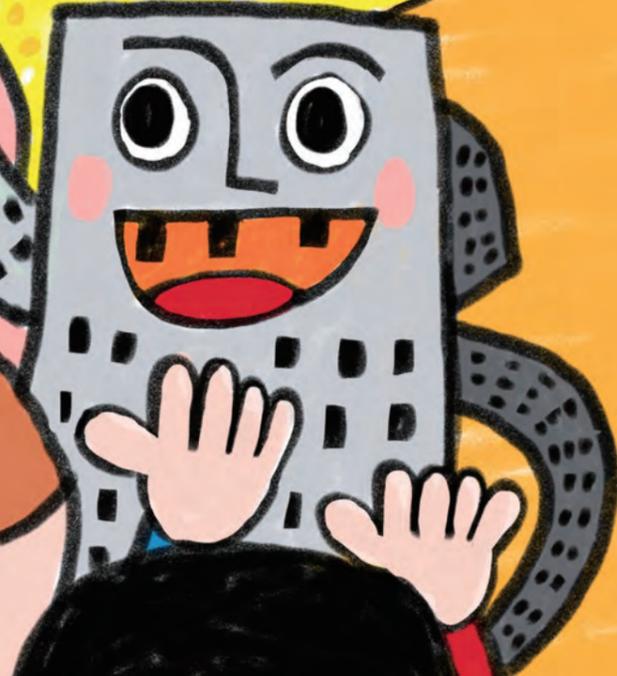
あか 明るく げんき 元気な 町で いられるように 1年に 1回

わたし 私に イルミネーションを してくれるのよ。」



「わたしは この イルミネーションの ように ^{しめまち}志免町 が ずっと ^{あか}明るくて ^{げんき}元気な ^{まち}町に なって ほしいな。」
「ぼくも そんな ^{しめまち}志免町が いいな。 そのためには どうしたら いいんだろう。」
「まずは ^{じぶん}自分が できる ことから やってみよう。 ひとりで できない ことは ^{いっしょ}だれかと 一緒に ^て手と^て手を ^と取り^あ合^ちって ^あ力を ^あ合わせれば いいんだよ。」 「うん やってみるね!」





それから ^{ふたり}2人は ^{かえみち}いつもの ^{もどって}帰り道に ^{きました}もどって きました。

「あー ^{たの}楽しかった! ^{しめまち}志免町の ^いいろんな ^{行けて}ところに ^{はなし}行けて ^{できた}たくさん ^{ね。}お話が ^{ね。}できたね。」

「^{いま}今まで ^し知らなかった ^{こと}ことが ^{たくさん}たくさん ^{あった}あったけど ^{わたしたち}わたしたちが ^{ちから}力を ^あ合わせる ^{こと}ことで ^{もっと}もっと ^{ステキ}ステキな ^{しめまち}志免町に ^{なる}なるね。」

「^{そう}そうですね。 ^{しめまち}志免町の ^{みらい}未来は ^{みんな}みんなで ^{つくる}つくるんだね。 ^{ふたり}2人が ^{おとな}大人に ^{なる}なるころには ^{もっと}もっと ^{ステキ}ステキな ^{しめまち}志免町に ^{なっ}なっ ^てて ^{いる}いるよ。」

^いそう言うと ^{むしめ}むしめがねくんは ^{そら}空へ ^と飛んで ^いいきました。

「^あありがとう ^{むしめ}むしめがねくん。 ^{こんど}こんど ^あ会う ^{とき}ときは ^{しめまち}もっと ^{ステキ}ステキな ^{しめまち}志免町に ^{なっ}なっ ^てて ^{いる}いる ^{から}からねー!」



しめまち
ステキな志免町に
なるために

みんなができること



1 まちのお店や、たてこやぐらなどの文化に興味をもって、人に話してみたり、行ってみたりする

すると… ひととまちがにぎわって、みりよくがいっぱいのまちになっていくよ



4 道路を歩くときは、交通ルールや交通マナーを守る

すると… 安全で、安心して暮らせるまちになっていくよ



2 まちの行事や、町内会の行事、自分が興味のある活動に参加してみる

すると… きみたちの笑顔がいっぱいのまちになっていくよ



5 ごはんは、自分が食べられる量にして残さないようにしてみる

すると… ごみが減って、環境にやさしくて暮らしやすいまちになっていくよ



3 近くのおじいさんやおばあさん、困ったひとがいたら、あいさつしたり、声をかけたりしてみる

すると… みんなが元気でやさしくたすけあうまちになっていくよ



6 まちのことを調べたり、まちについておもっていることを伝えてみる

すると… みんなが協力してつくるまちになっていくよ

ほかにもできることをさがして、できることからやってみよう

しめまち

志免町では、ステキなまちになるためのまちの将来像と、

しょうらいぞう

じっけん

それを実現するための大きな6つの目標をつくりました。

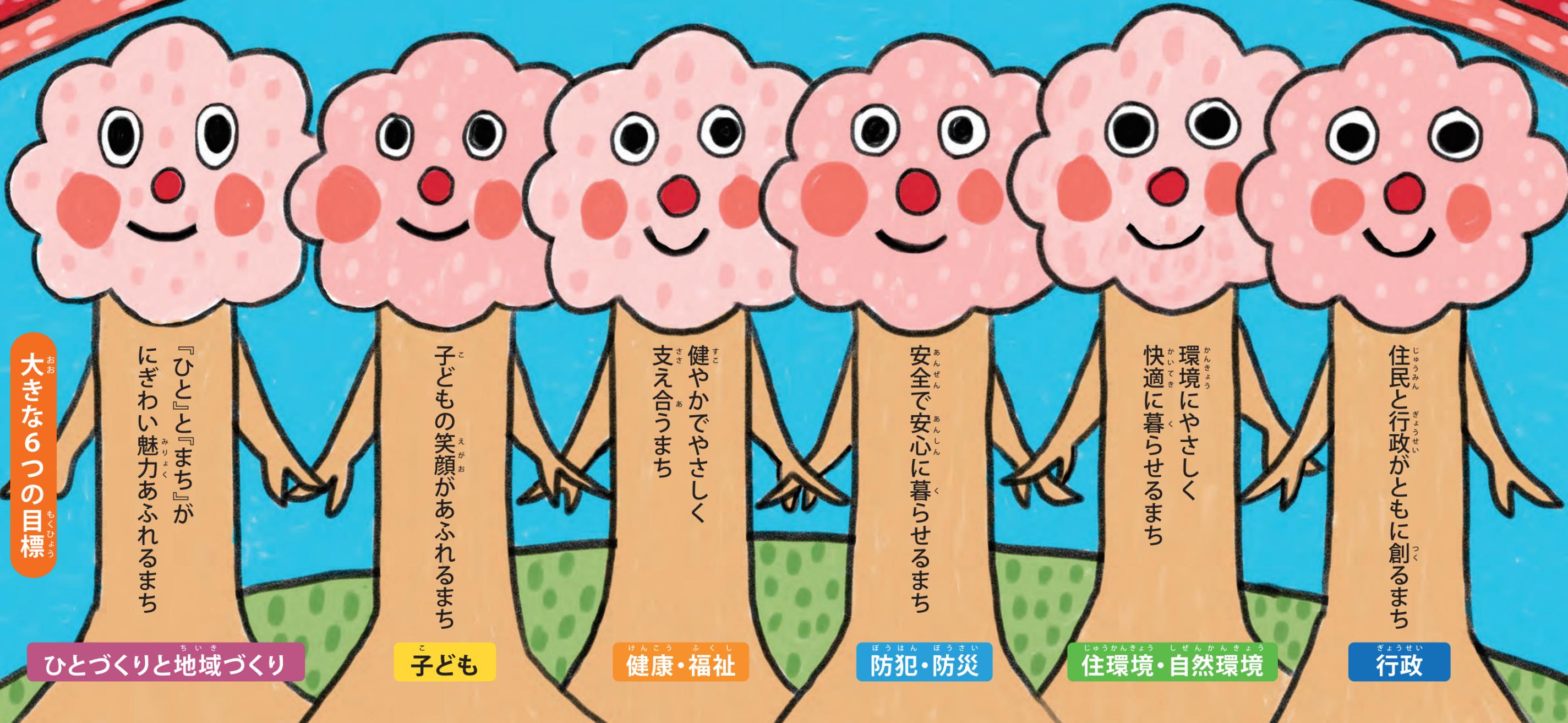
おお

もくひょう

まちの将来像

みんなで未来をつくるまち

～手と手を取り合い 住みつづけたい しめ～



大きな6つの目標

『ひと』と『まち』が
にぎわい魅力あふれるまち

ひとづくりと地域づくり

子どもの笑顔があふれるまち

子ども

健やかでやさしく
支え合うまち

健康・福祉

安全で安心して暮らせるまち

防犯・防災

環境にやさしく
快適に暮らせるまち

住環境・自然環境

住民と行政がともに創るまち

行政



はっ ころ しめまち
発 行：志免町

きかく へんしゅう しめまちけいえいきかくか
企画・編集：志免町経営企画課

もこだでざいん
mocoda design

ほりー
イラスト：POLLY



ふくおかけん
しめまち